

松本市文化芸術功労賞

わたなべ くにこ
渡辺 邦子



○プロフィール

【略歴】

- 1969年 箏曲の専門機関である正派音楽院第8期卒業
- 1987年 「一人オペラと日本叙情歌の夕べ」に(故)友竹正則氏と共演
- 1989年 二十絃箏によるリサイタル開催
- 1994年 リレハンメル冬季五輪へ長野県より派遣、現地にて演奏
- 1995年 渡辺精堂氏と共にジョイントリサイタル(阪神大震災復興協力演奏会)を開催
- 2019年 1stアルバム「Story」を全国リリース
- 2021年 ジャズに箏を入れた2ndアルバム「Jazz・イリゼ」を全国リリース
アメリカ・ヨーロッパでの演奏も数多く洋楽器との融合など多彩な活動を続けている

【受賞歴】

- 2004年 邦楽発展と普及活動に対して松本芸術文化協会音楽賞を受賞

○受賞理由

箏曲生田流正派邦楽会大師範であり、指導者として門下生を育成し、資格者18名を輩出しています。

また、箏の演奏グループ「箏カプリース」を結成し、毎年の定期演奏会のほか、小中学校での邦楽鑑賞会の開催や松本市主催事業での演奏などをされており、現在では、ジャズに箏を入れたアルバムを全国リリースするなど活動をされています。これらの活動は、本市の文化芸術振興に大きく貢献しています。